

施策評価シート(平成21年度の振り返り、総括)

作成日	平成 22 年 7 月 16 日
-----	------------------

施策No.	32	施策名	学校教育の充実
主管課名	教育課	主管課長名	青木 寿
関係課名			

施策の目的 【対象】	対象指標名	単位	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
			実績	実績	実績	実績	見込み	見込み
①町内の児童(小学生) ②町内の生徒(中学生)	①児童(小学生)	人	1,291	1,235	1,175	1,111		
	②生徒(中学生)	人	755	699	679	648		

施策の目的 【意図】	成果指標名	単位	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
			実績	実績	実績	実績	目標	目標
豊かな心・高い知性・健康な身体をもとに活力ある人間に育てる。	①学力テストの結果(児童)	%		83	83	84	83.0	83.0
	②学力テストの結果(生徒)	%		84	82	83	83.0	83.0
	③体力テストの結果(児童)	P				50	50	50
	④体力テストの結果(生徒)	P				50	50	50

成果指標の把握方法と算定式等	①②学力テストの結果の測定方法は、5段階中3以上の児童(生徒)の数/児童(生徒)の総数とする。 ③④体力テストの結果の測定方法は児童(生徒)の全国比とする。(Pはポイント)なお、全国の標準を50Pとする。 ⑤⑥「学校が楽しいと～」は、学校評価に係るアンケートに含めて計測する。 ⑦不登校児童、生徒の数は実数とする	⑤学校が楽しいと感じている児童の割合	⑥学校が楽しいと感じている生徒の割合	⑦不登校児童・生徒の数	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
					実績	実績	実績	実績	目標	目標
		%	%	人	15	18	19	17	15	15

成果指標設定の考え方	①②学力テスト(NRT)群馬県内において採用率が高い。全国的にシェアが高い。よってこの指標を用いる。 ③④体力テスト 新体力テストの結果から指標を設定する(予定) ⑤⑥各学校の学校評価のアンケートの設問に加えて測定。 ⑦不登校 児童生徒の問題行動調査結果
------------	--

施策成果向上にむけた住民と行政との役割分担	<p>1) 住民の役割 (住民が自助でやるべきこと、地域やコミュニティが共助でやるべきこと、行政と協働でやるべきこと)</p> <p><家庭・保護者></p> <p>①家庭内教育(規範意識、基本的な生活習慣、食育、家庭学習の習慣化)</p> <p>②親としての自覚(人間・親としての義務)</p> <p><地域住民></p> <p>①地域への行事やイベントへの計画や参加(子どもと一緒に参加)</p> <p>②地域での子どもの安全性の確保への協力(地域のパトロール等) ※地域の子どもの自分の子どものように思ってもらおう。</p> <p>③教育活動への参加(地域人材として学校への協力) 例) 地域企業の社会体験、農業体験等</p> <p>2) 行政の役割 (町がやるべきこと、県がやるべきこと、国がやるべきこと)</p> <p><町></p> <p>①教育の基本方針を策定</p> <p>②施設整備を含む教育環境の整備・維持管理(建物、スクールバス等)</p> <p>③人事管理(ALTの配置、支援員等の配置、特配の充実)</p> <p>④人材育成(指導主事訪問、三国会における研修等行事運営資金の援助)</p> <p>⑤教育振興事業の実施(小中学校の運営、小中一貫教育、就学支援、特別支援教育等)</p> <p><県></p> <p>①県費負担教職員の人事</p> <p>②人材育成(教職員の研修)</p> <p>③教育委員への研修</p>
-----------------------	--

21年度の 評価結果	＜資料2＞
	1. 施策の成果水準とその背景・要因 1) 現状の成果水準と時系列比較（現状の水準は？以前からみて成果は向上したのか、低下したのか、その要因は？） 全国学力テスト結果（群馬は全国平均より上まっている） 2) 他団体との比較（近隣市町、県・国の平均と比べて成果水準は高いのか低いのか、その背景・要因は？） ①全国学力テストでの比較では、みなかみ町は県・国よりも高い水準にある。 ②体力テストは全国標準並みにある。 ③学校を楽しんでいる子どもの数値は高い。 3) 住民の期待水準との比較（住民の期待よりも高い水準なのか、同程度なのか、低いのか）、その他の特徴は？ ※町民アンケート結果によると ①教育施設の整備の充実については、半数がよくなったと答えている。 ②授業内容の充実等、教育体制についても悪くなったと答えた人より、よくなったと答えた人が多かった。
	2. 施策の成果実績に対してのこれまでの主な取り組み（事務事業）の総括 1) 教職員の増員が図れたため、全国学力テスト結果では、全国・県のレベルを上まわった。 2) 支援を必要とする児童が支援員増により安定して授業が受けられるようになった。 3) 古馬牧小校舎、桃野小校舎、藤原小体育館、藤原中校舎、新治中校舎・体育館、月夜野北小校舎及び水上小学校の耐震補強工事を実施し、予定していた耐震補強工事を完了した。 4) 水上中学校の改築事業に着手した。（平成22年度末完成予定）
	3. 施策の課題認識と改革改善の方向 1) 教職員の質を高めるため、交流や研修により意識改革をしていく。 2) 各学年の課題を再度詳細に分析し、授業改善に努めていく。